



式典に出席した新成人

二十歳の門出・ふるさとで大人の誓い 祝成人 平成21年奥出雲町成人式

奥出雲町成人式が八月十五日、横田コミュニティセンターで開催され、平成生まれ（平成元年四月二日から平成二年の四月一日まで）の新成人百三十四人が、誓いを胸に新たな一歩を踏み出しました。



誓いの言葉を述べる
嵐谷菜都子さん

当日、男性は真新しいスーツ姿、女性はドレスシーな洋装が多く、色鮮やかな衣装で会場は華やき、同級生との再会を笑顔で喜び合う姿や近況を語り合い、写真撮影する姿などが見られました。

式典では、国歌、町歌の斉唱に続き、新成人一人ひとりの名前が呼ばれ、それぞれに晴れやかな返事で答えていました。

その後、町長の式辞、記念品の贈呈、来賓を代表して縁原県議、千原議長から祝辞が述べられました。

井上町長から「無限の可能性を秘めた皆さんの大いなる飛躍と活躍を心から祈念します」と式辞が述べられました。

これを受けて、新成人を代表して嵐谷菜都子さんが「一度は夢をあきらめた私を、ふるさとの豊かな自然や、温かい地域の方々の励ましが、



インタビューを受ける新成人

もう一度、自分の夢に向かって頑張ろうと決心させてくれました。

多くの方々に生かされている感謝を忘れず、これからも精進していきたい」と誓いの言葉が述べられました。

また、式典の前に行なわれた記念事業では、「奥出雲町の紹介ビデオ」が上映され、新成人は、ふるさとの良さを改めて感じている様子でした。

成人式の様子は、全町に生中継され、お盆の帰省時期とあつて多くの人が成人を祝いました。

奥出雲町社会福祉協議会

「アコ様」の善意を形に 福祉車両を購入



「アコまごころ号」に乗車するサロンの皆さん

奥出雲町社会福祉協議会では、昭和四十六年から今日まで三十八年間、毎月匿名で届くアコ様からの寄附を大切に積み立ててきましたが、このたび、その貴重な浄財「アコ基金」をもとに、十人乗りの福祉車両「アコまごころ号」を購入しました。

九月二日には、社会福祉協議会仁多事務所前で納車記念式典が行われ、井上町長やふれあいサロンの会員など関係者約三十人が納車を祝うとともにアコ様の善意に感謝しました。

式典では、神事で安全祈願をした後、同協議会の田中和夫会長が「これからも地域の

福祉向上に貢献できるように、未永く大切に活用します」とあいさつがあり、アコ様への感謝状を読み上げました。

また、井上町長から「アコまごころ号」を見るたびにアコ様の善意に思いを寄せ、ともに支えあう福祉の町づくりを心に刻む」とあいさつがありました。

この車両は、介護予防事業の一環として、町内公民館や集会所など十六箇所で行われている、ふれあいサロンの送迎に利用されます。

式典後、早速、上阿井地区の高齢者が、真新しい車に乗り込み、尾原ダムの見学に出発しました。

国交省と県

道路・河川愛護活動 町内二団体を表彰



三成本町自治会（恩田副会長）
久比須自治会愛郷会（横路会長）

長年にわたり、道路や河川の愛護活動に取り組んでいる、亀高地区の久比須自治会愛郷会と三成本町自治会に国土交通省と島根県から感謝状が贈られました。

国土交通大臣表彰

久比須自治会愛郷会

国道四三二号線沿いを中心に、自治会住民参加による法面の草刈り、ゴミ拾い、花壇の手入れのほか、亀高川の環境整備を長年にわたって行われています。

今回の受賞は、平成十八年の「みんな育てるしまねの道づくり表彰」に続く表彰となりました。

島根県知事表彰

三成本町自治会

平成十五年斐伊川河川改修工事に合わせてできた「歴史を語る広場」周辺の環境整備をはじめ、親水公園の遊歩道の清掃活動等、河川環境の改善に貢献されています。

こども絵画コンクール

島根県審査会

最優秀賞



源 優奈さん
（三沢幼稚園）

第三十三回こども絵画コンクール島根県審査会の表彰式が、八月二十九日、島根県民会館で行われ、源 優奈さん（三沢幼稚園）の作品「かぞくのみんなでおそらにすんでみたいなあ」が最優秀賞に選ばれました。

同コンクールは、未来を担う子どもたちの心豊かな成長を願って、住友生命が開催しているもので、県内から約千九百の応募の中から最優秀賞六点が選ばれました。

この六点の作品は、全国審査会に出品され、そのうち上位入賞百点は、フランスのルーヴル美術館に展示されることになっています。